

# 平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

汲沢地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

### 1 全事業共通

#### (1) 地域の現状と課題について

汲沢エリアには、昔からのコミュニティがしっかりと根付いている汲沢地区、古くから地域独自の生活支援や送迎支援が生まれている北汲沢地区、新旧住民が混在し、ポテンシャルの高さを感じる踊場地区があります。平成 29 年度は、3 地区共、地域のニーズ把握のためにアンケート調査を実施しました。地理的な状況からくる移動支援へのニーズや一人暮らしの世帯・老々世帯の増加によるみまもり支援や生活支援の必要性が更に高まっています。また、こうした地域の課題解決を担っている方達も高齢化しており、支援継続に困難が生じてきていることから、今後の地域福祉、地域づくりを担う若い世代を育てていく必要性もあります。

#### (2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・ CP から一番離れている、戸塚町や矢部町も含まれる踊場町内会定例会に CO が毎月出席させて頂きました。定例会では CP を紹介するとともに町内会長から「気軽に相談できるよ」と呼び掛けて頂き場所は遠いですが「相談窓口」としての関係性が構築されつつあります。
- ・ 3 地区民児協には毎月必ず定例会（年間 36 回）に出席し、主に生活 CO と主マネが出席し個別ケースと地域支援を視野に関わりました。
- ・ 踊場「子育てマップ」は子育て支援事業の際に配布し、転居してこられた方などには大変喜ばれましたので引き続き情報提供していきます。

#### (3) 各事業の連携

- ・ 毎月開催している「地域ケア会議」検討会。今年度からは生活支援 CO, 地域 CO も参加し 5 職種で会議を進めています。また生活支援 CO からは地域状況について情報提供し、地域 CO からは CP 主催事業を中心に情報提供を行い、包括が把握している個別ケースの情報共有だけでなくお互いの情報共有の場になっています。

#### (4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・ 包括支援センター3 職種及び 2 コーディネーターは随時、情報共有や連携を強化し、それぞれの職務に専念しました。
- ・ 業務を調整して、センター内オープン研修、必須研修、任意の専門研修等にも積極的に参加しました。研修後は伝達研修や情報共有を行い、業務への反映を図りました。
- ・ 定期的な利用者アンケートを実施し、会議の中で結果を共有、検討することによって、公正・中立の重要性を確認しました。

#### (5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ 3 地区連合町内会、地区社協、地区民児協の定例会へ出席しました（年間 87 件）。汲沢地区見守り活動連絡会（年間 5 回）や北汲沢地域総合福祉活動委員会（年間 12 回）、踊場ちよこっとボランティア（年間 6 回）、踊場「ふれあいプロジェクト」（年間 12 回）に出席しました。
- ・ 3 地区主任児童委員連絡会「ぐみさん会」では地域交流 CO が中心に関わり今年度は戸塚高校定時制授業の中で講演会を実施し 100 名を超える生徒が参加されました。

#### (6) 区行政との協働

- ・ 昨年度も実施した子育て中の母親を対象とした「子育て中のママさん一緒におしゃべりしませんか」を実施し子育てに悩まれている方たちの当事者の会として親子分離して実施しました。また子どもから高齢者が自由に出入りできる場「ぐみカフェ」を試験的に実施し、今後活かしていきます。

## 2 地域活動交流事業

#### (1) 自主企画事業

- ・ 今年度初めて横浜市シニアボランティアポイント研修会を実施しました。新たなボランティアの発掘や地域ニーズに答える形で地域 CO が指導者研修会に出席し 2 回講座を実施しました。
- ・ 踊場地区「ちよこっとボランティア」ではボランティアニーズから「認知症サポーター養成講座」を開催し認知症の理解を広げました。
- ・ 踊場「ふれあいプロジェクト」では来年度に予定している「ふれあいカフェ」の実施に向けてボランティアを発掘することを目的に「コーヒー名人講座」（3 回）を実施しました。踊場地区内にある喫茶店「青葉」店主にも場所の提供や講師役、器具類の提供等、全面的に協力して頂き実施しました。

#### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 既に貸館として利用されているサークルへ働きかけを行い、来年度の夏休み子ども対象事業への協力を依頼しました。
- ・ ホームページへ広報紙「ぐみぐみ」を毎月更新して掲載しました。
- ・ 施設パンフレットを改訂し施設紹介に活用しました。また施設の 20 周年を記念した「20 周年記念誌」を作成し地域へ配布しました。

#### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ 今年度初めて横浜市シニアボランティアポイント研修会を実施しました。新たなボランティアの発掘や地域ニーズに答える形で地域 CO が指導者研修会に出席し 2 回講座を実施しました。
- ・ 踊場地区「ちよこっとボランティア」ではボランティアニーズから「認知症サポーター養成講座」を開催し認知症の理解を広げました。
- ・ 踊場「ふれあいプロジェクト」では来年度に予定している「ふれあいカフェ」の実施に向けてボランティアを発掘することを目的に「コーヒー名人講座」（3 回）を実施しました。踊場地区内にある喫茶店「青葉」店主にも場所の提供や講師役、器具類の提供等、全面的に協力して頂き実施しました。

#### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・既に貸館として利用されているサークルへ働きかけ、来年度の夏休み子ども対象事業への協力を依頼しました。
- ・ホームページへ広報紙「ぐみぐみ」を毎月更新して掲載しました。
- ・施設パンフレットを改訂し施設紹介に活用しました。また施設 20 周年を記念した記念誌を作成し地域へ配布しました。
- ・踊場地区民児協で発行している「お元気ですか」について、生活支援 CO も一緒に社会資源情報の掲載に取り組みました。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

- ・毎月開催している「地域ケア会議」検討会。今年度からは生活支援 CO, 地域 CO も参加し 5 職種で会議を進めています。また生活支援 CO からは地域状況について情報提供し、地域 CO からは自主事業を中心に情報提供を行い、包括が把握している個別ケースの情報共有だけでなくお互いの情報共有の場になっています。
- ・また CO とサブコと一緒に集まる「地域会議」では生活支援 CO が 5 職種会議と同じ内容の地域情報を提供し共有しました。また積極的に「地域アセスメント」を会議内で開催し地域支援と個別支援についても情報共有しました。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・生活支援 CO は毎月の地域支援記録を必ず残しました。
- ・汲沢地区では昨年度実施した世帯アンケートの実施結果について精査し今後に活かしていけるよう検討を重ねました。北汲沢地区では全世帯アンケート結果を毎月生活支援 CO も出席している「北汲沢地域総合福祉活動委員会」（年間 12 回）において精査し今年度の活動に活かしました。踊場地区では昨年度実施した「いまこれカード」の結果から「居場所」、「坂道」、「担い手」の 3 本柱を主に今年度は「居場所」について検討を始めました。来年度「ふれあいカフェ」に向けてコーヒー名人講座を実施し新たな担い手の確保をしながら進めています。

#### (3) 連携・協議の場

- ・踊場地区「見守りプロジェクト」では年に 2 回開催している民生委員と友愛活動員による「情報交流会」を中心に、認知症を主に個別ケースについて事例検討会を重ねました。昨年度、平成 28 年度に認知症をテーマにした個別ケースを事例で取り上げた結果、平成 29 年度では事例の「その後」の報告と「認知症サポーター養成講座」の実施に繋がりました。来年度以降も認知症をテーマに取り組んでいく予定で、コアメンバーの中では地域にある商店等の役割や社会資源としての活用についても話し合われています。
- ・年に 2 回、生活支援 CO 主催「3 地区情報交換会」を実施しました。各地区の情報共有を目的に実施し毎回テーマを決めて実施しました。地域アセスメントをテーマに開催し、その後、移動支援について参加者から自発的に意見が出され今後のテーマに設定していきます。
- ・包括支援センター主任ケアマネジャーと生活支援 CO が一緒に「拡大カンファレンス」を実施しました。平成 29 年度は踊場地区在住（単位町内会）の個別ケースについて取り上げました。地域や事業者から出された声を受けて対象者を身近で支えている方達と担当 CM が一同に町内会館で情報共有しました。個別支援と地域支援との情報共有となり有意義な協議の場となりました。
- ・包括支援センター主任ケアマネジャーと生活支援 CO が一緒に「拡大カンファレンス」を実施しました。平成 29 年度は踊場地区在住（単位町内会）の個別ケースについて取

り上げました。地域や事業者から出された声を受けて対象者を身近で支えている方達と担当 CM が一同に町内会館で情報共有しました。個別支援と地域支援との情報共有となり有意義な協議の場となりました。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

・ 汲沢地区では昨年度実施した世帯アンケートの実施結果について精査し今後活かしていけるよう検討を重ねました。北汲沢地区では全世帯アンケート結果を毎月生活支援 CO も出席している「北汲沢地域総合福祉活動委員会」（年間 12 回）において精査し、ボランティアによる移動支援を実施しているにも拘らず移動支援のニーズが充足していないことから新たな移送サービス的手段について検討しました。踊場地区では昨年度実施した「いまこれカード」の結果から「居場所」、「坂道」、「担い手」の 3 本柱を主に今年度は「居場所」について検討を始めました。平成 30 年度の実施予定「ふれあいカフェ」に向けて新たな担い手の発掘の為「コーヒー名人講座」を開催しました。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ① 地域におけるネットワークの構築

・ エリア内関係団体・地域活動の場に出向き、地域包括支援センターのチラシ等を活用し周知しました。  
・ 「地域ケア会議」や「拡大カンファ」を開催し、地域が抱えている個別課題解決に向け、地域とケアマネジャーとの情報共有の場を設け、協働しました。

#### ② 実態把握

① 相談者の一覧名簿の作成を行い、把握したケースについての追記・修正を随時行い管理しています。5 年保管期限が過ぎた情報については整理し処分を行いました。

#### ③ 総合相談支援

・ 今年度は 12 月末現在で総合相談件数は 1,887 件で月平均 210 件と昨年比べて月 20 件増えています。  
・ 汲沢独自の総合相談受付マニュアルを作成し、随時改訂を行いながら、包括内での情報共有を行い、基本的な対応を統一し継続的な支援が行えるようにしました。  
・ 情報共有については、月 2 回のケース会議を開催し、期間内に関わりのあった全ケースについて情報共有し、支援の方向性の確認・検討を行いました。その他にも、個人情報適切に管理できるようにセキュリティをかけた環境で、早急な情報共有や対応が必要なケースについては PC 内に伝言版を作成し、継続的な支援が行えるような体制をとっています。  
・ 新しい事業所や制度等の情報収集を行った場合には紙ベースでの管理と、PC 内で事業所一覧等の作成を行い、事業所内で共有し、相談を受けた場合に対応をできるようにしています。  
・ 月 1 回の区カンファの開催。また、必要時には随時区役所などの関係機関へ連絡・相談しケース検討や同行訪問を行いました。  
・ 継続的フォローは汲沢オリジナルのマニュアルを作成し活用しています。アフターフォローや（例：CM に引きついたケースについては、1 カ月後に CM へ、2 カ月後には家族へ状況確認するなど）、その他必要なケースについては随時、支援の方向性をケース会議等で検討しました。

## (2) 権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

・権利擁護、消費者保護の情報提供が行えるようにパンフレット等の整理を行って、地域の方が自由に情報を得られるようにしております。相談があった場合には、その情報を利用し適切な対応を行い、必要時には関係機関へ繋いだり同行訪問を行いました。

地区内で消費者被害にあったケースについては、所内で情報共有し地域へも情報発信しました。

・区長申し立てが必要な事例については、区へ速やかに繋がります。  
・親族申立支援については、制度の説明・手続き方法の相談を行いました。必要時には、専門家への相談や繋ぎを行っています。

#### ・権利擁護事業

神奈川県司法書士会横浜支部の司法書士を講師に招き「相続の基礎知識と遺言書の書き方講座」を開催いたしました。この講座は、関心のある方に年齢問わず参加いただき、相続の基礎知識と正しい遺言書の書き方を学び、これからの生活の安心・安全の準備に役立てていただくものです。

### ② 高齢者虐待への対応

・虐待事例については、速やかに区へ報告し、情報共有と支援の方向を検討しています。

・虐待と疑われる事例についても速やかに区へ報告し、関係者間でカンファレンスを開催し情報共有と役割分担などの支援の方向を検討し対応しました。虐待管理ファイルを作成し、定期的に区と方針の確認・検討を行いました。

・介護をしている方同士の交流を通して日頃の思いや悩みを話したり、情報交換の場として年9回「かいごカフェ」を開催しました。

### ③ 認知症

・踊場地区で勤めている見守りネットの研修で、キャラバンメイトの協力を得て、認知症サポーター養成講座を開催。また戸塚区認知症キャラバンメイト連絡会主催の認知症フォーラムの運営や広報活動を支援しました。当日は220名の参加があり、広く周知活動ができました。

・生活支援コーディネーターと一緒に踊場地区内の喫茶店店主や地との連携を希望する訪問看護ステーション等の現場確認や今後どのように活用できるか検討しました。来年度の事業に展開できるよう今後も検討を重ねていきます。

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

・生活支援コーディネーターが中心となり、活動・インフォーマルサービスの把握・情報収集・整理を行いました。ケアマネジャーに対し、日常相談や勉強会等で情報提供を適宜行いました。地域事業に積極的に参加し、地域包括ケアの相互理解を深め、個別支援の協働を行いました。

## ② 医療・介護の連携推進支援

・ケアマネジャーと医療機関とのネットワーク構築のため、他ケアプラザの包括主任ケアマネジャーと協働し、関連機関の情報提供を行いました。

## ③ ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーが気軽に相談できるよう努めました。
- ・地域包括ケアに添った支援ができるよう、地域との協働に関する支援を行いました。
- ・支援困難ケース・緊急対応ケースの支援を行いました。
- ・けあまね勉強会を開催しました。
- ・地域連携を目的とした「拡大カンファ」を開催しました。
- ・新任就労予定者の研修を実施しました。

## (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

・地域包括ケアの実施に向け、エリア担当保健師・ケースワーカー、当ケアプラザ 5 職種の協働で、毎月「地域ケア会議検討会」を開催し、情報共有・課題解決のための取り組みを検討しました。

## (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・エリア内の社会資源を介護予防支援計画に組み入れることが委託先のケアマネジャーにも徐々に浸透し、ちょこっとボランティアの活用や元気づくりステーションに通う要支援者が増えました。また訪問事業でも元気づくりステーションに自力で通えるよう計画を立て支援につなげています。
- ・介護予防支援契約時、またはサービス担当者会議は委託先のケアマネジャーと同行し、スムーズに引継ぎができました。職員間の連携を密に、利用者の困りごとには迅速に対応しました。

## (6) 一般介護予防事業

### 一般介護予防事業

- ・踊場地区ぐみさわなか団地の集会場で、介護予防教室を月1回開催し、来年度は自主化の方向で検討しています。さらに、高齢化で転倒リスクが気になっていた地域から、「山坂で体力が低下してきている」と相談があり、今年度の予定にはなかったのですが、急きょ、介護予防教室を3回開催。健康への意識も高く、10月には元気づくりステーション健くまさる会としてスタートしました。
- ・介護予防ボランティアのスキルアップ研修では、言語聴覚士による「コミュニケーションの力と地域活動のすすめ」とのテーマで、難聴の方とのコミュニケーションも含めての講座とグループワークを行い、エリア内で活動する16名のボランティアが交流を深めました。3月にはグループの代表者を対象として、「長く通い続けられる場づくり」をテーマに講座とグループワークを開催し、身近な所で開催することの重要性や課題について意見交換できました。
- ・高齢者食事会や老人会では、「脳トレクイズ」や「健康講座と体操」を開催し、笑いの中で健康意識を高めました。

## 7 施設の適正な管理について

### (1) 施設の維持管理について

利用者の皆様に安全快適にご利用いただくことを目的として、次のような施設維持管理の適正化を進めました。

- ・洗面所にエアタオルを設置するなど、施設ご利用者の衛生面の確保に努めました。
- ・平成30年3月、玄関付近の埋設污水管修繕工事を行いました。
- ・建築基準法第12条による特殊建築物定期点検ほか、法定により定められた各種点検、電気設備、水質検査、消防設備、ばい煙測定、受水槽、EV等の点検を実施しました。
- ・委託契約書に基づき、日常清掃・定期清掃・施設管理業務を行い、快適な環境維持に努めました。
- ・災害時停電等の電源確保を目的としたガスコージェネレーション設備の安定稼働に努めました。
- ・毎日、宿日直者が保守点検チェック表に基づき、施設内設備と外周の巡視点検を実施し、破損・故障箇所等を日誌に記録し報告しました。
- ・幹部職員ならびに防災委員による毎月の防災パトロールを実施し、建物内外の危険・破損箇所をチェックしました。施設の安全・維持管理のために、危険・破損箇所の速やかな保守修繕を行いました。
- ・施設内清掃は業者委託で行い、日々清潔を保つよう努めました。
- ・地域ボランティアの協力の下、敷地内の清掃・除草等を徹底し、環境整備に努めました。

### (2) 効率的な運営への取組について

利用者の皆様の快適な利用を優先に考え、効率のよい運営に努めました。

- ・11月、横浜市の指導監査を受けました。業務に関して指摘事項はありませんでしたが、経理関係の指摘が1件ありました（対応済み）。
- ・高齢者福祉センター全体の協業体制により、施設全体の効率的な運営を行いました。
- ・地域包括支援センター、地域交流部門、居宅介護支援事業所、デイサービスなどのケアプラザ職員が情報を共有し連携しながら効率的な運営を行いました。
- ・地域の関係機関や関係者、区行政とも連携を図りネットワークを強化し、地域ニーズに対応できるよう運営してきました。
- ・運営協議会、運営推進会議、地域ケア会議等を開催し、地域の方や関係者の意見を業務に反映させました。
- ・高齢者福祉センター事業計画に基づき、計画的に運営しました。
- ・効率的な情報共有、介護保険請求業務等のため、パソコンやソフトの購入、バージョンアップを行いました。
- ・省エネのため、空き部屋や休憩時間の消灯、電気器具のスイッチオフを徹底し、夜間宿直者の巡視も継続しました。

### (3) 苦情受付体制について

・横浜市苦情対応事務処理要領に基づき、当プラザで規定した苦情解決要綱並びに苦情解決マニュアルに解決責任者及び窓口を明示し対応しました。

- ・難度の高い問題は、第三者委員に申立ができる仕組みになっています。
- ・毎月2人のモニターが来所し利用者との面談を行い、利用者の苦情や要望をお聞きするモニター制度を継続しました。
- ・館内に設置してある「あなたの声」（投書箱）に寄せられたご要望やご意見への対応は館内に掲示するほか、広報紙を通じて広く情報公開しました。
- ・年1回利用者アンケートを実施し、そこに寄せられた意見や要望への対応結果は、モニターに報告すると共に広報紙等に掲載しました。

- ・ 苦情はセンター全体の運営会議や部署会議などで報告検証しました。
- ・ 苦情の対応状況は毎月モニターに報告し指導助言を仰ぎました。

#### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防犯・防災対策を意識的に進め、災害等、緊急時に備えます。

- ・ 防犯対策は、当プラザで規定する防犯マニュアルに基づいて対応します。
- ・ 戸塚消防署立会いの下、地元の町内会と交わした「消防応援協力に関する覚書」に基づいて、災害時の相互の応援体制を強化しています。
- ・ 年1回、正面玄関に設置されたAEDの操作訓練を職員全員に行い、消防署立会いによる年2回の総合防災訓練（土砂災害による避難訓練含む）を実施しました。
- ・ 夜間の巡視等警備体制を強化しました。
- ・ 防災対策は、当プラザで規定する地震防災マニュアルに基づいて対応します。
- ・ 当プラザは災害時における在宅要援護者のための「福祉避難場所」として登録されていますので、地域の皆様への周知を図りました。
- ・ 災害時応急備蓄物資は種類ごとに消費期限を明示し、適宜交換をしました。
- ・ 災害発生時に備えて防災マニュアルに基づいた職員の役割分担・連絡体制等職員への指導、徹底を進めました。
- ・ 防災委員及び幹部職員による毎月の館内や周辺のパトロールを実施し、不具合は修理・対応しました。

#### (5) 事故防止への取組について

職員全員を対象として、法令順守に則った利用者支援の理念・技術向上の研修を実施しました。

- ・ 事故発生時は当プラザが規定する事故対応マニュアルに基づいて速やかに対応すると同時に、市の「事故発生時の報告取扱要領」に従って所管課へ報告しました。
- ・ 事故発生に際しては、事故対応マニュアルに沿って対応しています。
- ・ 事故防止を目的として、所属長を責任者とした「事故防止委員会」を隔月に開催しました。（重篤な事故が発生していない場合は、運営会議に代えます。）
- ・ ヒヤリハット報告を職員に義務付け、危機管理意識を職員相互に共有しました。
- ・ 職員の交通安全教育を実施しました。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 平成30年3月20日に発生した口頭による個人情報漏えい事故に関して、直ちに所轄（戸塚区福祉保健課事業企画）へ連絡・相談をしました。その後、会議を開き、原因・課題を明らかにして、再発防止のための対策を検討しました。
- ・ 当プラザが規定する「個人情報の保護に関する取扱要綱」の見直しを行いました。
- ・ 職員はもとより、業務委託業者並びに当プラザに業務上出入りする者に対して、「横浜市個人情報の保護に関する条例」に準拠し守秘義務の徹底を図りました。
- ・ 個人情報を含む書類等の取扱いにおいては、郵送物の誤送付や連絡帳の取り違い等の事故防止に向けて、複数による厳重なチェック体制を強化しました。
- ・ ファクシミリ送信は個人情報に当たる部分を塗りつぶすなどの工夫や送信時の職員2人体制でのダブルチェックを徹底しました。居宅介護支援事業所は、マイトーク（電



子送信)を導入しました。

- ・個人情報が含まれるパソコン等は必ずパスワードを入力し、不使用時は鍵のかかる引き出しあるいはロッカーに収納しました。
- ・バックアップ用のメモリー等は鍵の掛かるロッカーに保管し、室外持ち出し禁止にしています。
- ・プラザ全職員に個人情報保護研修を実施し、「個人情報保護に関する誓約書」を所轄に提出しました。
- ・他部署や他機関における漏えい事故発生時は、その情報を職員に周知し注意を喚起しました。

#### (7) 情報公開への取組について

運営内容がいつでも開示できるようにガラス張りの情報公開に努めました。

- ・創立20周年を記念してセンターのパンフレットを刷新しました。年度を跨いで、ホームページのリニューアルも検討しています。
- ・プラザの予算決算報告を含めた日頃の活動・事業内容を毎月の広報紙やホームページに掲載し地域の方への周知を図りました。
- ・情報公開を求められた文書等は、当所の規定する「情報の公開に関する取扱要綱」並びに「個人情報に関する取扱要綱」に従い、速やかな手続対応を行います。

#### (8) 人権啓発への取組について

子ども、高齢者、障がい者等が生き生きと暮らせる地域社会の実現を目指し、地域住民と連携・協力して人権啓発に努めました

- ・権利擁護事業として「遺言と相続」講座を開催しました。
- ・地域住民の多様な相談に応じ、問題解決と人権擁護のため、区行政と連携協働しました。
- ・虐待や消費者被害などの権利侵害から高齢者を守るよう努めました。地域に「おれおれ詐欺」被害が発生(2件)したことから、自治会・町内会と連携し地域の高齢者に注意喚起を行いました。
- ・高齢者虐待防止法による虐待の早期発見・早期対応に努めました。
- ・地域の方々に権利擁護に関する情報提供や周知を行いました。

#### (9) 環境等への配慮及び取組について

地域環境へ配慮すると共に、ボランティアさんの協力も得て、ご利用の皆様が快適で過ごしやすい施設環境を整えることを目指しました。特にご利用者から要望のあった施設内の生け花の手入れには力をいれました。

- ・定期的にはばい煙測定を実施し、二酸化炭素やダイオキシン等を法定内の排出量に抑えました。
- ・利用者の食事残菜量の削減を目指し、楽しんでもらえる、残さないメニューを工夫しました。
- ・コピー機より安価で効率の良い印刷機を活用し、コピー枚数の削減に努めました。
- ・環境に優しく駐車スペースを取らない電動自転車をもっと1台増やし、少しでも温暖化防止に努めました。
- ・館内自動販売機の横にキャップ回収箱を設置し、地域の社会運動に協力しました。
- ・建物の壁に朝顔やゴーヤなどのグリーンカーテンを作り、西日を遮断しました。
- ・敷地に樹木、竹林、庭木、花壇を配し、利用者の癒しの空間づくりと温暖化防止に努めました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・看護師(訪問看護経験者、介護支援専門員) 常勤1名
- ・社会福祉士(介護支援専門員) 常勤2名
- ・主任ケアマネジャー(社会福祉士) 常勤1名
- ・プランナー(介護支援専門員) 非常勤1名
- ・事務職 非常勤1名

《目標に対する成果等》

- ・本人が主体的に目標設定でき、自立や意欲を引き出せるようなケアマネジメントを実施しました。
- ・要支援者が要介護者に、または要介護者が要支援者になった場合でも安心して住み慣れた家や地域で生活ができるように、居宅のケアマネジャーや関係機関との連携に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし

●

●

《その他（特徴的な取組、PR等）》

包括エリア内には、地域包括が協力して立ち上げた元気づくりステーションが5か所、介護予防Gが4か所あります。要支援者には積極的に活用を働きかけました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
215	210	214	223	227	224
10月	11月	12月	1月	2月	3月
218	223	220	217	213	223

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 常勤兼務管理者（主任介護支援専門員） 1名
- ・ 常勤専従介護支援専門員 4名（うち3名は主任介護支援専門員）
- ・ 非常勤事務職員 1名 以上 計6名

《目標に対する成果等》

- ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けて、社会資源を取り込んだ総合事業への取り組みを行いました。
- ・ 要支援者の予防ケアマネジメント・総合事業の受け入れを行いました。  
目標15件に対して28件の実施でした。
- ・ 主任介護支援専門員が主導して事例検討会等実施し、介護支援専門員相互のスーパービジョンを実施しました。
- ・ 地域密着型サービスとの連携を図り、利用者の在宅生活継続に努めました。
- ・ 定期巡回訪問介護看護・認知症型通所介護・小規模多機能居宅等の紹介をしながらきめ細かいサービスの導入に配慮しました。
- ・ 介護支援専門員実務研修の受け入れは、6名の実習生受け入れました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ・ ご利用者、ご家族から提供サービスエリア（戸塚区・泉区・栄区）外への派遣依頼があった場合は、旅費（交通費）の実費を請求しますが、平成29年度は事例として発生しませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 特定事業所（Ⅱ）として主任介護支援専門員4名を含む常勤5名の体制で相談を年中無休で受け付けています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
137	138	146	145	143	150
10月	11月	12月	1月	2月	3月
146	149	147	145	147	143

● 通所介護・認知症対応型通所介護（対象外）

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護（対象外）

平成29年度「浜沢地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,588,292	221,880	20,810,172	20,810,172	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	621,380		621,380	368,590	252,790	自主事業参加費
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	308,940	0	308,940	394,000	85,060	
印刷代	308,940		308,940	238,851	70,089	コピー代
自動販売機手数料	0		0	119,849	119,849	自動販売機設置手数料
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	35,300	35,300	外業者食事代
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	21,518,612	221,880	21,740,492	21,572,762	167,730	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	8,806,601	0	8,806,601	8,970,238	163,637	
本俸	6,759,360		6,759,360	5,796,360	963,000	非常勤給与含む
社会保険料	803,876		803,876	775,779	28,097	社会保険料
手当計	979,161		979,161	2,131,780	1,152,619	常勤賞与
健康診断費	40,000		40,000	56,242	16,242	職員健康診断受診料
勤労者福祉共済掛金	12,000		12,000	12,600	600	ケアふれんど
退職給付引当金繰入額	85,884		85,884	93,336	7,452	横浜市社協退職共済掛金
その他	126,320		126,320	104,141	22,179	中小企業退職共済掛け金含む
事務費	2,534,715	0	2,534,715	1,599,129	935,586	
旅費	24,000		24,000	1,200	22,800	出張旅費、訪問時利用駐車場代他
消耗品費	378,972		378,972	425,569	46,597	広報誌用紙代他
会議開費	0		0	0	0	
印刷製本費	75,000		75,000	117,288	42,288	パンフレット印刷等
通信費	604,484		604,484	669,814	65,330	NTT、携帯電話使用料、切手代等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	488,700		488,700	63,324	425,376	ファックストナー他
図書購入費	515,200		515,200	0	515,200	図書コーナー配本
施設賠償責任保険	45,395		45,395	39,799	5,596	施設賠償責任保険等
職員等研修費	39,094		39,094	36,366	2,728	職員研修受講料・研修講師謝金等
振込手数料	39,132		39,132	42,678	3,546	銀行振込手数料等
リース料	133,032		133,032	43,108	89,924	パソコンリース料
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	15,750		15,750	77,750	62,000	町内会費・地域お祭り祝い金等
その他	175,956		175,956	82,233	93,723	来客用お茶代等
事業費	527,000	0	527,000	954,366	427,366	
運営協議会経費	42,000		42,000	24,074	17,926	予算:指定額
指定管理料充当 事業	485,000		485,000	930,292	445,292	自主事業時使用物品等
管理費	8,790,701	221,880	9,012,581	9,570,572	557,991	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	6,689,814	0	6,689,814	7,340,222	650,408	光熱水費
電気料金	1,669,264		1,669,264	1,765,142	95,878	
ガス料金	1,619,023		1,619,023	1,877,585	258,562	
水道料金	3,401,527		3,401,527	3,697,495	295,968	
清掃費	203,251		203,251	348,982	145,731	受水槽・貯湯槽清掃等
修繕費	474,000	221,880	695,880	695,880	0	予算:指定額
機械整備費	104,436		104,436	104,436	0	セコム警備委託
設備保全費	950,147	0	950,147	645,870	304,277	
空調衛生設備保守	297,285		297,285	297,285	0	冷温水器切替・エアコンフィルター清掃等
消防設備保守	29,285		29,285	29,284	1	消防設備点検
電気設備保守	99,669		99,669	99,669	0	電気設備点検・エレベーター点検等
害虫駆除清掃保守	33,542		33,542	33,542	0	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	490,366		490,366	186,090	304,276	建物定期点検・ボイラー点検等
共益費	0		0	0	0	
その他	369,053		369,053	435,182	66,129	粗大ごみ・産業廃棄物等
公租公課	855,120	0	855,120	717,619	137,501	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	855,120		855,120	717,619	137,501	消費税
印紙税			0		0	この列は入力しない
その他( )			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	この列は入力しない
当該施設分			0		0	この列は入力しない
二一ス対応費			0		0	この列は入力しない
支出合計	21,514,137	221,880	21,736,017	21,811,924	75,907	
差引	4,475	0	4,475	239,162	243,637	

自主事業費収入	485,000		485,000	0	485,000	予算:指定管理料(含む)
自主事業費支出	485,000		485,000	930,292	445,292	自主事業時使用物品等
自主事業収支	0	0	0	930,292	930,292	自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	119,849	119,849	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	119,849	119,849	

**平成29年度「汲沢地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	29,357,144	147,000	29,210,144	29,210,144	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	149,240		149,240	149,240	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	74,492	5,714,508	5,714,508	0	横浜市より
利用料金収入			0			この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0			この列は入力しない
雑入	2,800,000	0	2,800,000	8,000	2,792,000	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	2,800,000		2,800,000	8,000	2,792,000	介護保険収入等充当分
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
<b>収入合計</b>	<b>38,095,384</b>	<b>221,492</b>	<b>37,873,892</b>	<b>35,081,892</b>	<b>2,792,000</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	33,557,110	0	33,557,110	32,972,647	584,463	
本俸	22,634,728		22,634,728	16,669,650	5,965,078	非常勤給与含む
社会保険料	4,623,350		4,623,350	4,215,529	407,821	社会保険料
手当計	5,263,660		5,263,660	11,058,080	5,794,420	常勤給与
健康診断費	50,000		50,000	89,932	39,932	職員健康診断受診料
勤労者福祉共済掛金	30,000		30,000	36,600	6,600	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	526,200		526,200	524,220	1,980	横浜市社協退職共済掛け金
その他	429,172		429,172	378,636	50,536	中小企業退職共済掛け金含む
事務費	976,988	0	976,988	1,168,811	191,823	
旅費	12,000		12,000	1,500	10,500	出張旅費、訪問時利用駐車場代他
消耗品費	102,300		102,300	55,818	46,482	広報紙用紙代他
会議ठी費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	27,252		27,252	31,156	3,904	NTT、携帯電話使用料、切手代等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	184,240		184,240	0	184,240	事務用品他
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	104,745		104,745	58,314	46,431	施設賠償責任保険等
職員等研修費	20,400		20,400	105,570	85,170	職員研修受講料・研修講師謝金等
振込手数料	39,132		39,132	52,678	13,546	銀行振込手数料等
リース料	434,469		434,469	11,453	423,016	パソコン・車両リース
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	21,250		21,250	19,750	1,500	諸会費
その他	31,200		31,200	832,572	801,372	ガソリン代
事業費	1,110,500	0	1,110,500	1,007,709	102,791	
協力医	630,000		630,000	483,000	147,000	予算・指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	22,500		22,500	61,013	38,513	自主事業時使用物品等
指定管理料充当事業(介護予防)	149,000		149,000	154,696	5,696	予算・指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	309,000	0	予算・指定額
管理費	2,392,655	0	2,392,655	2,551,672	159,017	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	1,778,304	0	1,778,304	1,951,197	172,893	光熱水費
電気料金	443,728		443,728	469,214	25,486	
ガス料金	430,373		430,373	499,105	68,732	
水道料金	904,203		904,203	982,878	78,675	
清掃費	54,029		54,029	92,765	38,736	受水槽・貯湯槽清掃等
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算・指定額
機械警備費	27,756		27,756	27,756	0	セコム警備委託
設備保全費	308,463	0	308,463	171,679	136,784	
空調衛生設備保守	79,023		79,023	79,023	0	冷温水器切替・エアコンフィルター清掃等
消防設備保守	7,784		7,784	7,784	0	消防設備点検
電気設備保守	26,493		26,493	26,493	0	電気設備点検・エレベーター点検等
害虫駆除清掃保守	8,915		8,915	8,915	0	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	186,248		186,248	49,464	136,784	建物定期点検・ボイラー点検等
共益費	0		0	0	0	
その他	98,103		98,103	182,275	84,172	粗大ごみ・産業廃棄物等
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二重対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>38,037,253</b>	<b>0</b>	<b>38,037,253</b>	<b>37,700,839</b>	<b>336,414</b>	
差引	58,131	221,492	163,361	2,618,947	2,455,586	

自主事業費収入	480,500			0		予算・指定管理料に含む
自主事業費支出	480,500			524,709		自主事業時使用物品等
自主事業収支	0			524,709		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

## 平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 汲沢地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
	収入	介護保険収入	12786767	29893399	0
その他		0	1820653	0	0
介護予防ケアマネジメント 費		0	0	0	0
事業・負担金収入		0	0	0	0
受託収入		0	1820653	0	0
		0	0	0	0
		0	0	0	0
その他		0	0	0	0
<b>収入合計(A)</b>		<b>12786767</b>	<b>31714052</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
支出	人件費	2441877	28869443	0	0
	事務費	38892	1472869	0	0
	事業費	0	135846	0	0
	管理費	32400	338488	0	0
	その他	8348553	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	8348553	0	0	0
		0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
<b>支出合計(B)</b>	<b>10861722</b>	<b>30816646</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>収支 (A) - (B)</b>		<b>1925045</b>	<b>897406</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

汲沢地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ぐみざわ倶楽部	①65歳以上	¥132,503	地活	¥15,213	¥117,290			¥121,107	¥11,396
	②50名		包括						
	③500円		生活						
トンとん	①障害児	¥61,350	地活	¥24,850	¥36,500			¥58,434	¥3,920
	②4名		包括						
	③800円		生活						
子育て中のママさん・一緒におしゃべりしませんか？	①親子	¥89,300	地活	¥89,300			¥29,160	¥9,860	¥50,280
	②6組		包括						
	③無料		生活						
どれみの森のお友達	①親子	¥132,140	地活	¥86,140	¥46,000		¥108,000	¥15,180	¥8,960
	②17組		包括						
	③2000円		生活						
やきもの遊び	①障害児親子	¥30,800	地活	¥30,800					¥30,800
	②10組		包括						
	③無料		生活						
図書コーナー	①地域住民	¥40,501	地活	¥40,501					¥40,501
	②		包括						
	③無料		生活						
ぐみカフェ	①地域住民	¥16,710	地活	¥8,710	¥8,000			¥15,590	¥1,120
	②		包括						
	③無料		生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

汲沢地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
かいごカフェ	①介護をしている方、 経験された方	40,380	地活	40,380	0	0	26,600	1,800	11,980
	②59人		包括						
	③なし		生活						
権利擁護事業	①地域住民	0	地活		0	0	0	0	0
	②51人		包括						
			生活						
認知症サポーター 養成講座	①地域住民	0	地活		0	0	0	0	0
	②80人		包括						
	③なし		生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。



# 平成29年度 自主事業報告書

## 汲沢地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
図書コーナー	蔵書、約1500冊、戸塚図書館からの本も約500冊を貸出ししています。特に大きな活字本の導入を積極的に進め、施設の特徴を活かしながら一般図書とあわせて子どもからお年寄りまで幅広い年代層の皆さんに活用して頂けるよう整備しました。	【実施時期】 平日：9時～21時 休日、祝祭日：9時～17時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぐみざわ倶楽部	仲間作りや閉じこもりを防ぐ場所として、また地域での繋がりを作ることを目的に実施しています。近隣の汲沢保育園との交流事業を実施し充実を図ることに加え、新たな集いの場と機会を提供しました。	【実施時期】 毎月第3月曜日 13時30分～15時30分 【実施回数】 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
陶芸教室	毎回、多くの方にご参加頂いている「陶芸教室」ですが、28年度も引き続き多くの方にご参加頂けるようにボランティアさんの協力を得ながら実施しました。	【実施時期】 隔月土曜日 年間通して実施 9時30分～12時 【実施回数】 20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子陶芸教室	今年度もボランティアの皆さんの協力を得ながら、「夏休み親子体験陶芸教室」を実施しました。	【実施時期】 8月 10時～12時 【実施回数】 3回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て中のママさん・一緒におしゃべりしませんか？	主に子育てしている母親を対象とした支援事業で、育児で抱えている精神的負担から精神疾患の予防することを目的に親子分離で実施しました。	【実施時期】 1月/2月/3月 10時～12時 【実施回数】 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
トンとん	障がいのある中学生を中心に活動している「トンとん」ですが、ボランティアの皆さんが定期的に活動へ参加して頂いています。	【実施時期】 毎月第1土曜日 11時～14時 【実施回数】 8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
やきもの遊び	より多くの障がいのある親子が参加できる事業として実施していけるよう、事業の充実に取り組みました。	【実施時期】 隔月第3土曜日 10時～12時 【実施回数】 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場	普段区役所共催で実施している「遊び場・しゃべり場・ほっとタイム」が祝祭日のお休みの際、ケアプラザ独自自行として実施しています。	【実施時期】 5月・11月 10時～12時 【実施回数】 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
広報紙の発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラザの事業周知</li> <li>・ケアプラザエリアの地域情報の周知</li> </ul>	毎月1回発行 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
どれみの森のお友達	今後、どれみのボランティアグループ「どれみファミリー」にも、より積極的な参加を呼び掛け、プログラムの充実を図りました。	【実施時期】 毎月第3金曜日 10時30分～12時 【実施回数】 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遊び場・しゃべり場・ほっとタイム	子育て支援者が毎週水曜日に来て開催しました。また祝祭日はケアプラザ主催事業として実施しました。	【実施時期】 毎週水曜日 10時～12時 【実施回数】 50回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぐみさわ納涼祭（汲沢町内会・ぐみさわ東ハイツ自治会共催）	2自治会町内会共催事業、また汲沢地区社協後援として実施しています。おおぞらひまわり保育園や汲沢小学校、汲沢中学校にも参加して頂き地域の納涼祭として盛大に開催しました。	【実施時期】 7月 【実施回数】 1回

## 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クローバース ポーツクラブ	汲沢地区、北汲沢地区、踊場地区の3地区連合町内会、また汲沢小学校の4機関合同で毎月第2、第4土曜日に開催している「地域総合型スポーツクラブ」です。ケアプラザとしては、健康教室への協力をしています。	【実施時期】 毎月第2、 第4土曜日 【実施回数】 22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
人形劇 (汲沢地区青少年指導委員共催)	青少年指導委員との共催事業として、ボランティア団体「人形劇いちご座」の人形劇を開催しました。	【実施時期】 12月 13時30分～ 【実施回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
汲沢地区家庭防災員共催研修会	家庭防災員の共催事業として実施しました。今年度は「防災のまちづくり」をテーマに山路清貴氏を講師にお迎えして実施しました。	【実施時期】 12月 【実施回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
北汲沢地区社会福祉協議会「車椅子体験」研修会	北汲沢地区「統一防災訓練」の中で北汲沢地区社協共催「車いす研修会」を踊場公園で実施しました。	【実施時期】 1月 【実施回数】 1回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
関係機関交流事業	近隣の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校と連携した交流事業。引き続き様々な関係機関と連携し、地域交流の機会を作りました。	【実施時期】 3月 【実施回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プレママ・プチママ集まれ（汲沢地区主任児童委員・汲沢保育園共催）	汲沢地区主任児童委員、汲沢保育園、そしてケアプラザが連携をとりながら実施しました。	【実施時期】 5月,6月,7月,10月,11月,12月 第4水曜日 13時～14時30分 【実施回数】 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会	汲沢地域ケアプラザ、特別養護老人ホーム「しらゆり園」で日頃活動して下さっているボランティアの皆さまへ感謝の気持ちをお伝えする機会として実施しました。また今回は創立20周年記念を祝して大勢の皆さんに参加して頂きました。	【実施時期】 3月 11時～14時 【実施回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康医療講演会	汲沢地区社会福祉協議会、西横浜国際総合病院共催事業として実施しました。今年度は第1回はケアプラザ地域包括支援センター社会福祉士主催で講座「老前整理」を開催しました。第2回は西横浜国際総合病院が主催で「感染症」をテーマに講座を主に体験時間も設けて実施しました。	【実施時期】 年間通して 【実施回数】 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
踊場文化まつり	踊場地区青少年指導員が中心となり、踊場連合、地区社協、スポーツ推進員等が実行委員会を組織しコーディネーターも一緒に参加しました。当日は「福祉体験コーナー」を担当しました。今年度は福祉業者にも協力をお願いし多種多様な車いすを用意して体験してもらうことが出来ました。	【実施時期】 11月 10時～14時 【実施回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぐみカフェ	CP来館者の個別ニードから実施した集いの場。来年度以降の実施を見据えて試行的に実施したものです。アンケート結果からは大変好評を頂きました。	【実施時期】 1月～3月 【実施回数】 3回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 汲沢地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
かいごカフェ	(目的) 介護者という共通の立場の人たちが、日頃の悩みや思いを語り合う場を設定する。また介護に役立つ情報を提供する。 (内容) 懇話会をメインにお花見・薬剤師さんによる「お薬との上手なお付き合い」の話・歌声喫茶・ミニコンサート・アロマハンドマッサージを開催。	【実施時期】 4月14日、6月9日、7月14日、9月8日、10月13日、11月10日、12月8日、2月9日、3月9日 【実施回数】 9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護事業	(目的) 地域の方が相続の基礎知識と正しい遺言書の書き方を学ぶ。 (内容) 司法書士会横浜西支部から講師を招き講演を行う。	【実施時期】 2月17日 【実施回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	(目的) 地域住民や地域の関係者が認知症について理解ができ、本人家族のサポーターになることができる。 (内容) 踊場地区見守りネットワークやちょこっとボランティアグループに戸塚区キャラバンメイトの協力を得て認知症サポーター養成講座を実施した。	【実施時期】 6月14日 9月6日 【実施回数】 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数